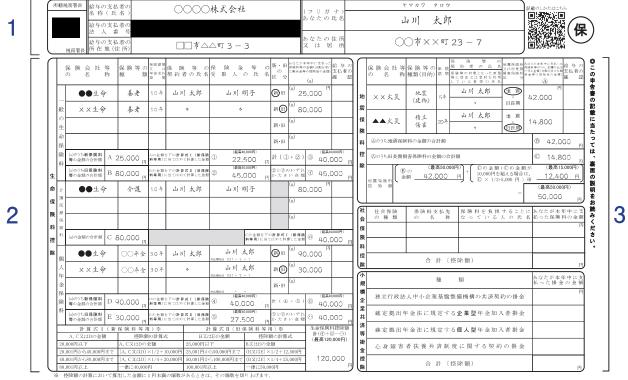
令和6年分 給与所得者の保険料控除申告書



1 氏名、住所などの記入

1 所轄税務署長 給与の支払者の 名 称 (氏 名) 2 給与の支払者の 社 人 番 号	○○○○ 林氏会社	(フ リ ガ ナ) あなたの氏名	山川 太郎			
佐 人 番 号 給与の支払者の 所 在 地 (住 所)		あなたの住所 又 は 居 所				

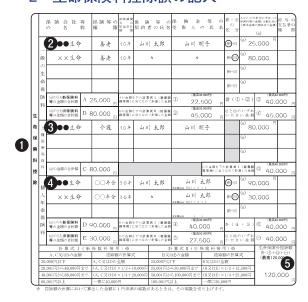
▶● 所轄税務署長

給与の支払者の所在地等の所轄税務署長を記載します。

▶ ② 給与の支払者の法人番号

この申告書を受理した給与の支払者が、給与の支払者の法人番号を付記 するため、あなたが記載する必要はありません。

2 生命保険料控除額の記入



保険会社等の名称、保険等の種類などを生命保険料控除証明書や契約証書などを参考に記載します(「新・旧の区分」には、生命保険料控除証明書等に記載されている適用制度の新旧区分を記載します。)。

なお、保険金等の受取人は、あなた又はあなたの配偶者や親族(個人年金保険料については親族を除きます。)であることが必要です。 ※「給与所得者の保険料控除申告書」を提出する際は、旧生命保険料で

※ | 給与所得者の保険料理除申告書」を提出する際は、旧生命保険料で 一契約の保険料の金額が9,000円以下であるものを除き、証明書類の 添付等が必要です。

▶2 一般の生命保険料

(保険料控除証明書からの記載例)

(イメージ) 保険料控除証明書 (一部抜粋)

令和 b 年分 生命保険料控除証明書									
契約番号(証券記載番号) [1]			保険払込期間		険種類	適用制度			
0000444			10 年	10年		新生命保険料控除制度			
払込方法	ŧ.		保険期間		年金支払開始日				
	月払	〇年	○月〇日		10 年				
保険金号	保険金受取人名 保険受取人生年月日								
山川 明子					〇年〇月〇日				
6/1	一般の生命	配当金(相	当額	(B)	一般証明額(A — B)				
一般	25,000円 0円					25,000 円			
介護	介護医療保	配当金(相)	当額	(D)	介護医療証明額(C-D)				
年金	個人年金保	(降料(E)	配当金(相	当額	(F)	個人年金証明額(EーF)			

(記載例の控除額の計算)

①欄:25,000円×1/2+10,000円=22,500円(計算式I)②欄:80,000円×1/4+25,000円=45,000円(計算式Ⅱ)③欄:22,500円+45,000円=67,500円→最高40,000円(側:控除額は、②と③のいずれか大きい金額→45,000円

▶ 3 介護保険料

(記載例の控除額の計算)

②欄:80,000円×1/4+20,000円=40,000円(計算式Ⅰ)

▶ 4 個人年金保険料

(記載例の控除額の計算)

④欄:90,000円→最高40,000円(計算式Ⅰ)

⑤欄:30,000円×1/2+12,500円=27,500円(計算式Ⅱ) ⑥欄:40,000円+27,500円=67,500円→最高 40,000円

○欄:控除額は、⑤と⑥のいずれか大きい金額→40,000円

▶6 生命保険料控除額

(記載例の控除額の計算)

45,000 \boxminus + 9 40,000 \boxminus + 3 40,000 \boxminus = 125,000 \boxminus

→最高 120,000円

※ 記載欄が足りない場合は、適宜の様式に記載して、この申告書に添付してください。

地震保険料控除額等の記入

_								
	保険会社等 の 名 称	保険等の 種類(目的)	期間 6	展 険 等 の 長 約 者 の 氏 名 経験等の対象となった家屋 に居住又は家財を利用 こている者 等 の 氏 名	□ 損害保険料 目区 分		(年中に支払った))ち、起欄の区分 ((分配を受けた負 格殊後の金額)	
地震	××火災	地震 (建物)	5年 -	山川 太郎	田 猫 · 磯	42,	14,800	
保険	▲▲火災	積立 傷害	20年	山川 太郎	地震	14,		
料	(Aのうち地震保険	料の金額の合	計額		® 42,000 _{FI}			
控	②のうち旧長期報	Ĉ	© 14,800 p					
*	推奏保険料 (最高50,000円) + (の金額(のの金額が (最高15,000円) を額 42,000 円) + (の金額(の金額が (最高15,000円) は 12,400 円) ※ (最高50,000円) を除る (最高50,000円) を除る (最高50,000円) を (表高50,000円) を							
社会	社会保険 保険料支払先 保険料を負担することにあなたがの 種類 の 名 称 なっている人の氏名払った例							
保険								F
料								
控除	合 計 (控除額)							F
小規			なたが本: った掛 金					
模企	独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金							F
業共	確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金							
済 等	確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金							
掛金	心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金 合 計 (控除額)							
控除								р

▶● 地震保険料控除

保険会社等の名称、保険等の種類などを地震保険料控除証明書や契約 証書などを参考に記載します(「地震保険料又は旧長期損害保険料区分」 欄には、地震保険料控除証明書等に記載されている適用制度の区分に〇 を付けます。)。

保険等の対象となった家屋等に居住又は家財を利用している人は、あなた又はあなたと生計を一にする親族であることが必要です。 ※「給与所得者の保険料控除申告書」を提出する際は、証明書類の添付

等が必要です。

(保険料控除証明書からの記載例)

(イメージ) 地震保険料控除証明書 (一部抜粋)

令和6年分 地震保険料控除証明書

保険契約者氏名	山川 太郎				
証券番号	0000×××××				
保険の種類	地震保険				
保険の対象	建物				
又は被保険者	建初				
保険期間	令和6年1月1日から				
木 央	令和 10 年 12 月 31 日まで 5 年間				
払込方法	一時払				
1 回分保険料	_42,000 円				
控除対象保険料	42,000 円				
満期返戻金の有無	無				
その他	上記保険料は、所得税法第 77 条第 1 項に規定				
ての地	する地震保険料に該当するものです。				

(記載例の「地震保険料控除額」の控除額の計算)

地震保険料の控除額

42,000円 (圏の金額、最高 50,000円)

+12,400円 (©の金額が10,000円を超える

場合は©×1/2+5,000円、最高15,000円)

=54,400円→最高 50,000円

▶ ② 社会保険料控除

国民年金保険料など、あなたが直接支払った社会保険料を記載します。 給与から差し引かれた社会保険料は記載しません。 ※国民年金の保険料や国民年金基金の加入員として負担する掛金を記

載する場合は、「給与所得者の保険料控除申告書」を提出する際、そ の証明書類の添付等が必要です。

▶ 3 小規模企業共済等掛金控除

iDeCo(個人型確定拠出年金)の掛金など、あなたが直接支払った小規 模企業共済等掛金を記載します。給与から差し引かれた掛金は記載しま

- ※「給与所得者の保険料控除申告書」を提出する際は、証明書類の添付 等が必要です。
- ※ 記載欄が足りない場合は、適宜の様式に記載して、この申告書に添 付してください。